

庁舎改築周辺整備事業における 整備方法（A B C案）の 検討状況について



新庁舎周辺整備課

整備方法



A 案（分棟案）

町としての
検討の優先度

低



B 案（一体化案）

高



C 案（公民館改修案）

高

基本方針（令和6年8月策定）において、優先度が高いB案（一体化案）とC案（公民館改修案）をより具体的に検討していくこととしました。

住民参画① ～実施内容～

実施内容	参加人数等	意見数
①区長会（区加入者）への意見聴取	186	341
②福祉委員（民生児童委員・主任児童委員・人権擁護委員）への意見聴取	42	6
③整備方法（A B C案）検討会	11	23
④庁舎改築周辺整備事業推進委員会委員意見	23	63
⑤整備方法（A B C案）に関するパブリックコメント	4	8
⑥職員の意見	-	24
⑦無作為抽出意見交換会	46	303
合 計	312	768

住民参画② ～主な意見～

○新庁舎

- ・ **手続は全部役場でできる**方がいい
- ・ 町民と職員が**使いやすいもの**（スペースも含めて）にしてほしい
- ・ 庁舎内の**案内を分かりやすく**してほしい

○公民館機能拡充施設

- ・ 公民館を改修している間の**活動が制限されないように**してほしい
- ・ 大賀ホールでは敷居が高いため、**もっと気軽に使えるホール**がほしい
- ・ **ソフト面**をしっかりと検討してほしい

○交通

- ・ 役場から**国道に出やすく**してほしい

○コスト

- ・ **金額は抑えて**欲しい
- ・ 物価が上がっているので**早く建てて**ほしい
- ・ **金額ありきの見直しでなく**、使い勝手や利便性を重視してほしい

○防災

- ・ 災害時の**避難所**としてもしっかり検討してほしい

○意見聴取

- ・ 意見を聴くのであれば**しっかり反映**してほしい

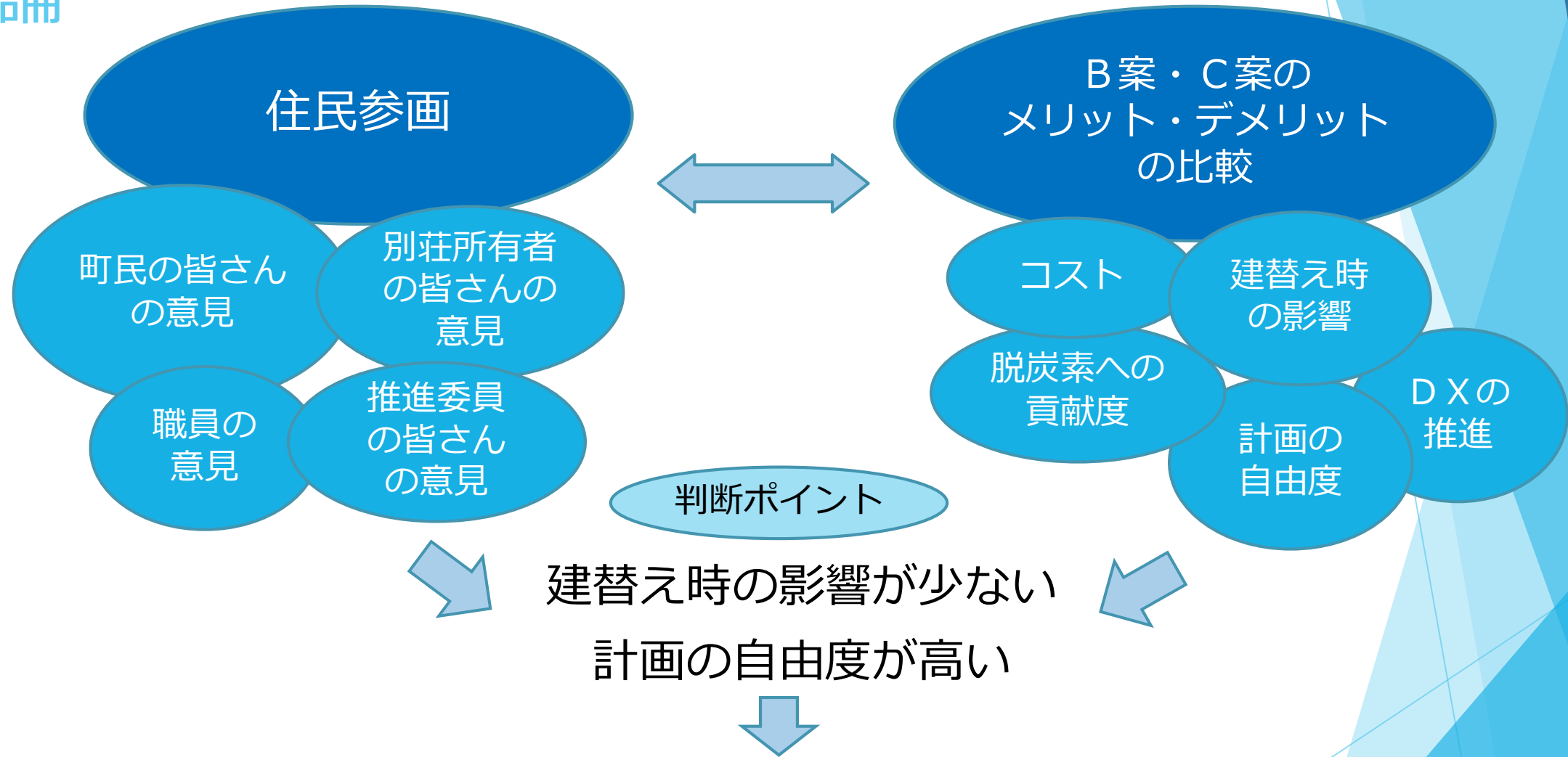
○情報発信

- ・ **分かりやすく情報発信**してほしい

B案とC案の比較（メリット）

項目	B案	C案
コスト	・ 建物の維持管理費用（ランニングコスト）が抑えられる	・ 事業費（イニシャルコスト）が抑えられる
	・ 建設・維持管理・解体までの全ての費用（ライフサイクルコスト）はおよそ同値	
建替え時の影響	・ 庁舎・公民館ともに使用しながら建替えができ、同時に完成する ・ 工期が短い（全体スケジュールも短い）	
脱炭素への貢献度		・ コンクリートの廃棄量が少ない
計画の自由度	・ 共用部の相互利用・スペースの合理化が図れる ・ 両施設の往来が内部廊下でできる ・ 相乗効果が生まれやすい ・ 管理運営がしやすい ・ 駐車場を建物の近くに配置でき、北側にまとめることができる ・ アクセスがしやすい ・ 統一感のあるデザインにできる	・ 音・匂いの出る諸室を公民館側に配置することで対応ができる
D Xの推進	・ D Xの推進を図りやすい	

結論



『整備方法は「B案（一体化案）」とし、
本事業を進めていく』こととします。

事業スケジュール

